

高等学校 令和5年度（1学年用）教科

芸術 科目 音楽 I

教科：芸術

科目：音楽 I

単位数：70 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1～8組：宮越）

使用教科書：（教育芸術社 MOUSA 1

）

教科 芸術

の目標：芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I

の目標：音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情をはぐくむとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数	
		歌	器	創							
単元：楽譜の読み方書き方 【知識及び技能】楽譜の正しい読みから書き方を身に付け、表現に生かすようにする。 【思考力、判断力、表現力等】多様な拍子で創意工夫をしたリズムを創作する。 【学びに向かう力、人間性等】音楽理論を表現や鑑賞に生かそうとする態度を養う。	・指導事項 …音符の長さ、拍子について/簡単なリズム創作とリズムアンサンブル ・教材 …教科書と副教材			○		【知識・技能】音符と拍子の関係を理解している。 【思考・判断・表現】様々な拍子でリズムを創作したり、また演奏することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】拍子やリズムの特徴に関心を持ち、主体的・協働的にリズム創作、及びアンサンブルに取り組もうとしている。		○	○	○	6
単元：曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう 【知識及び技能】曲にふさわしい発声などの技能を身に付け、曲想と音楽の構造や歌詞とのかかわりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】イメージを持って表現を工夫して歌う。 【学びに向かう力、人間性等】曲想と音楽の構造や歌詞とのかかわりに関心を持ち、より豊かな表現になるよう主体的・協働的に歌唱の活動に取り組む姿勢を育てる。	・指導事項 …校歌/「ヴォイス・トレーニング」/「ぼくはぼく」 「O sole mio」など ・教材 …教科書		○			【知識・技能】曲想と音楽の構造や歌詞とのかかわりを理解している。 【思考・判断・表現】音楽を形づくる要素を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】曲想と音楽の構造や歌詞とのかかわりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。		○	○	○	10
単元：作曲家の生涯と作品をたどろう 【知識及び技能】西洋音楽史の流れや作曲家の生涯、作品の特徴などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】曲や演奏に対する評価を根拠を持って行う。	・指導事項 …西洋音楽のルネサンスからロマン派までの音楽を取り扱う。 ・教材 …教科書、CD			○		【知識・技能】曲想や音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、また作曲家の生涯などについて理解している。 【思考・判断・表現】音楽を形づくる要素を知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠において考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。		○	○		4
単元：音階や調、和音の構造を理解して、簡単なメロディーを創作しよう 【知識及び技能】音階や調、和音に関する正しい知識を身に付け、表現や創作に生かすようにする。 【思考力、判断力、表現力等】移調をすることができ、また和音のニュアンスを感受した上でそれを表現やメロディー創作に生かすことができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】音楽理論を表現や創作、鑑賞に生かそうとする態度を養う。	・指導事項 …長調と短調の構造/和音の機能とその使い方/簡単なメロディー創作 ・教材 …副教材			○		【知識・技能】調性と音階の構造を理解しており、調号が3つまで書ける。基本的なコードの音の構成と働きを理解している。 【思考・判断・表現】楽譜を正しく読み、楽曲を移調することが出来る。また、メロディーとコードの関係性を意識して簡単なメロディー創作ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】音階や調、和音に関心を持ち、音楽作品をより深く理解しようとしている。		○	○	○	8
単元：表現を工夫してギターを演奏しよう 【知識及び技能】ギターの構え方や基本奏法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】演奏したり互いに聞きあったりしながら、曲想と楽器の音や奏法との関わりを理解し、イメージを持って表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】ギターの音色や奏法に関心を持ち、主体的・協働的に表現を工夫しながら演奏を楽しもうとする態度を養う。	・指導事項 …アポヤンド奏法とアルアイレ奏法/ギターの音階とポジション/簡単なコード ・教材 …教科書 他		○			【知識・技能】ギターの3ポジションまでの音階が演奏できる。簡単なメロディーやコードが演奏できる。 【思考・判断・表現】曲想とギターの音や奏法との関わりを理解し、それを表現につなげようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】曲想とギターの音や奏法との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に器楽活動に取り組もうとしている。		○	○		16

